

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）												
1	質問 (一問一答)	1 五十川員申	<p>1 職員の研修制度を拡充せよ。</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>現在、本市が行っている人材育成基本方針について</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>職員の政策形成能力を高める研修について本年度行われたこと、実績と効果を教えて下さい。</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>来年度行われる取り組みで特徴的なものがあれば教えて下さい。</td> </tr> <tr> <td>(4)</td> <td>職員提案制度があり提案も出ていたと伺いましたが、日々の業務改善や行政効率向上に対して本市職員における職員提案があれば教えて下さい。</td> </tr> </table> <p>2 オープンデータを推進せよ</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>9月議会では、オープンデータの要求窓口は、各課との答弁だったが、窓口の一元化をしてはどうか？</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>オープンデータのさらなる推進に向けて、オープンデータに白旗を上げてはどうか？</td> </tr> </table>	(1)	現在、本市が行っている人材育成基本方針について	(2)	職員の政策形成能力を高める研修について本年度行われたこと、実績と効果を教えて下さい。	(3)	来年度行われる取り組みで特徴的なものがあれば教えて下さい。	(4)	職員提案制度があり提案も出ていたと伺いましたが、日々の業務改善や行政効率向上に対して本市職員における職員提案があれば教えて下さい。	(1)	9月議会では、オープンデータの要求窓口は、各課との答弁だったが、窓口の一元化をしてはどうか？	(2)	オープンデータのさらなる推進に向けて、オープンデータに白旗を上げてはどうか？
(1)	現在、本市が行っている人材育成基本方針について														
(2)	職員の政策形成能力を高める研修について本年度行われたこと、実績と効果を教えて下さい。														
(3)	来年度行われる取り組みで特徴的なものがあれば教えて下さい。														
(4)	職員提案制度があり提案も出ていたと伺いましたが、日々の業務改善や行政効率向上に対して本市職員における職員提案があれば教えて下さい。														
(1)	9月議会では、オープンデータの要求窓口は、各課との答弁だったが、窓口の一元化をしてはどうか？														
(2)	オープンデータのさらなる推進に向けて、オープンデータに白旗を上げてはどうか？														
2	質問 (一問一答)	3 馬場 弘勝	<p>1 野々市版コンパクトシティのイメージについて</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>コンパクトシティ構想は、生活に必要な都市の機能を集約して効率的な都市を目指すものである。市長の思い描く、野々市版コンパクトシティとはどのようなものか。また、その思い描くイメージは他の市町と比較して、どのような特徴をもつのかを問う。</td> </tr> </table> <p>2 立地適正化計画の策定方法について</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>立地適正化計画は、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地誘導と公共交通等に関する包括的なマスタープランである。この将来ビジョンについて、市民や商工団体の参加という観点でどのような策定の進め方をするのかを問う。</td> </tr> </table> <p>3 誘導施設に対する容積率と用途制限の緩和について</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>各種サービスの効率的な提供を図るために、都市機能誘導区域内に、特定用途誘導地区を定め、誘導施設を有する建築物について容積率や用途制限を緩和することで、都市機能の立地誘導が一層進むのではないかと考えるが、所見を問う。</td> </tr> </table> <p>4 財政面での持続可能な都市経営について</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>社会インフラの維持管理費等の財政面での都市経営という観点において、本市の市街化は、将来の人口増加に伴う必要最低限の市街化であるべきだと考えるが、所見を伺う。また、20年後、さらにその将来の姿について、建物を建てることのできない現在の本市南西部の市街化調整区域は、どのような姿をイメージしているのかを問う。</td> </tr> </table> <p>5 コンパクトシティ・プラス・連携ネットワークについて</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>都市計画と公共交通の一体化、つまり、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりが重要である。生活圏や経済圏が同じ枠組みで形成されている金沢市や白山市との連携交通網のネットワークについて、連携中枢都市圏形成に向けての特化すべき協議事項と考えるが、所見を問う。</td> </tr> </table>	(1)	コンパクトシティ構想は、生活に必要な都市の機能を集約して効率的な都市を目指すものである。市長の思い描く、野々市版コンパクトシティとはどのようなものか。また、その思い描くイメージは他の市町と比較して、どのような特徴をもつのかを問う。	(1)	立地適正化計画は、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地誘導と公共交通等に関する包括的なマスタープランである。この将来ビジョンについて、市民や商工団体の参加という観点でどのような策定の進め方をするのかを問う。	(1)	各種サービスの効率的な提供を図るために、都市機能誘導区域内に、特定用途誘導地区を定め、誘導施設を有する建築物について容積率や用途制限を緩和することで、都市機能の立地誘導が一層進むのではないかと考えるが、所見を問う。	(1)	社会インフラの維持管理費等の財政面での都市経営という観点において、本市の市街化は、将来の人口増加に伴う必要最低限の市街化であるべきだと考えるが、所見を伺う。また、20年後、さらにその将来の姿について、建物を建てることのできない現在の本市南西部の市街化調整区域は、どのような姿をイメージしているのかを問う。	(1)	都市計画と公共交通の一体化、つまり、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりが重要である。生活圏や経済圏が同じ枠組みで形成されている金沢市や白山市との連携交通網のネットワークについて、連携中枢都市圏形成に向けての特化すべき協議事項と考えるが、所見を問う。		
(1)	コンパクトシティ構想は、生活に必要な都市の機能を集約して効率的な都市を目指すものである。市長の思い描く、野々市版コンパクトシティとはどのようなものか。また、その思い描くイメージは他の市町と比較して、どのような特徴をもつのかを問う。														
(1)	立地適正化計画は、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地誘導と公共交通等に関する包括的なマスタープランである。この将来ビジョンについて、市民や商工団体の参加という観点でどのような策定の進め方をするのかを問う。														
(1)	各種サービスの効率的な提供を図るために、都市機能誘導区域内に、特定用途誘導地区を定め、誘導施設を有する建築物について容積率や用途制限を緩和することで、都市機能の立地誘導が一層進むのではないかと考えるが、所見を問う。														
(1)	社会インフラの維持管理費等の財政面での都市経営という観点において、本市の市街化は、将来の人口増加に伴う必要最低限の市街化であるべきだと考えるが、所見を伺う。また、20年後、さらにその将来の姿について、建物を建てることのできない現在の本市南西部の市街化調整区域は、どのような姿をイメージしているのかを問う。														
(1)	都市計画と公共交通の一体化、つまり、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりが重要である。生活圏や経済圏が同じ枠組みで形成されている金沢市や白山市との連携交通網のネットワークについて、連携中枢都市圏形成に向けての特化すべき協議事項と考えるが、所見を問う。														
3	質問 (一問一答)	6 西本 政之	<p>1 連携中枢都市圏について</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>連携の具体の一つとして、金沢市夜間急病診療所の小児科を広域で運営することが示された。市長の考えを伺う。</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>連携中枢都市圏協定の締結に向けて、議会への説明が不十分であると考える。議会全体が納得できる説明を求める。</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td>金沢市の為だけの連携中枢都市圏ではないと明言せよ。</td> </tr> </table> <p>2 教職員の多忙化について</p> <table border="1"> <tr> <td>(1)</td> <td>多忙解消の為に取り組んだ具体的な対策について尋ねる。</td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td>教職員の体調に深刻な影響がでている。市独自の思い切った対策が必要と考える。</td> </tr> </table>	(1)	連携の具体の一つとして、金沢市夜間急病診療所の小児科を広域で運営することが示された。市長の考えを伺う。	(2)	連携中枢都市圏協定の締結に向けて、議会への説明が不十分であると考える。議会全体が納得できる説明を求める。	(3)	金沢市の為だけの連携中枢都市圏ではないと明言せよ。	(1)	多忙解消の為に取り組んだ具体的な対策について尋ねる。	(2)	教職員の体調に深刻な影響がでている。市独自の思い切った対策が必要と考える。		
(1)	連携の具体の一つとして、金沢市夜間急病診療所の小児科を広域で運営することが示された。市長の考えを伺う。														
(2)	連携中枢都市圏協定の締結に向けて、議会への説明が不十分であると考える。議会全体が納得できる説明を求める。														
(3)	金沢市の為だけの連携中枢都市圏ではないと明言せよ。														
(1)	多忙解消の為に取り組んだ具体的な対策について尋ねる。														
(2)	教職員の体調に深刻な影響がでている。市独自の思い切った対策が必要と考える。														

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
4	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 介護保険制度について</p>	
			(1)	<p>介護をめぐっての事件・事故が後を絶ちません。そうしたニュースを聞く度に胸が痛みますし他人事ではないと言うことを思わずにはおれません。2006年に京都市伏見区で起きた認知症の母親殺害事件の裁判で、裁判官が「本件で裁かれるのは被告人だけではなく、介護保険や生活保護行政の在り方も問われている。こうして事件に発展した以上は、どう対応すべきだったかを行政の関係者は考え直す余地がある。」と指弾している。こうした事件・事故が後を絶たないことについての市長の思いを伺う。</p>
			(2)	<p>なぜこうした事件・事故が後を絶たないのか。介護度ごとにサービスの上限が定められ、上限を超えると全額自己負担となり、利用料負担も重く施設サービスも足りない。特養ホームにいつ入れるのかもわからない。加えて安倍内閣は、医療・介護総合法で、要支援1、2の訪問介護と通所介護を保険給付から外し自治体事業に移し、さらに要介護1、2のサービスも保険給付から外す改悪法を来年の通常国会に提出しようとしている。そうすれば今以上に軽度者の重度化が進むとともに、介護する家族の負担がますます増えることになるのは明らか。介護をめぐる事件・事故が後を絶たないのにはこうした背景があるのではありませんか。少ない年金でも安心して必要な介護サービスを利用できるようにしないと事件・事故はなくならないと思うのですが、そういう問題意識はあるか。</p>
			(3)	<p>来年4月から要支援1、2の訪問介護、通所介護サービスが介護保険から外され市の事業へと移行します。利用者である市民へのサービスをどうするのか、直接判断するのが市になるとともに、高齢者と家族のくらしと権利を守るかどうか市に問われることになる。市が要介護認定を受けさせないとか、介護サービスからもっと安上がりの別サービスに転換を求めたり、介護サービスを終了するよう求めるなどは絶対にあってはならない。それは被保険者の権利を妨害することになる。市事業への移行にあたって、少なくともことが起こらないようにしていただきたいと思いますが、どうでしょうか。</p>
			<p>2 連携中枢都市圏構想について</p>	
			(1)	<p>政府は、連携中枢都市に、圏域全体の経済成長の牽引する役割と高次の都市機能の集積、強化の役割を果たさせ、そのために、連携中枢市に対して、2億円の普通交付税と年間1.2億円程度の特別交付税を交付するとしています。これは、連携中枢都市に政府の成長戦略を担わせ、行政サービスと都市機能を集約していくと言うものです。私は、それは一方で周辺自治体、本市の行政サービスを後退させることになるのではないかと、金沢市との間に格差の拡大をもたらすことになるのではないかと懸念がある。そうした懸念はないか。</p>
			(2)	<p>連携中枢都市協約締結後、連携する市町の行政サービスが悪くなり、中枢都市との格差の拡大をもたらすことになって自治体間で紛争が生じた場合、知事や自治紛争処理委員による解決が図られるとされています。それは、行政サービスの後退、格差の拡大をめぐる紛争が予想されるからだと思えます。知事や自治紛争処理委員による解決が図られても本市が連携協約から離脱しようとする場合、野々市市議会の議決だけでできるのか。あるいはどのような手続きがあれば離脱できるのか。</p>
			(3)	<p>県内で平成の大合併を良かったと評価する人はほとんどいない。連携中枢都市圏を形成するとは静かなる合併と言っても過言ではないと思えます。ところが市民には連携中枢都市圏構想とはどのようなものなのかまったく知らされていない。それを急いで協約を締結していいのか。市民の理解が得られるまで一旦協約締結を延期すべきではないか。</p>
			<p>3 中央保育園の再開園について</p>	
			(1)	<p>中央保育園を市の保育事業計画にしっかり位置付けして将来にわたって存続すべきではないか。</p>
			<p>4 新市立図書館について</p>	
			(1)	<p>ブックタワーは不要になった本を納めておく場所ではないはず。通路幅を広げて台車も使えるようにするなど、司書の負担を軽減し、安全に仕事ができるようにすべきではないか。</p>
<p>5 発達障害児支援事業について</p>				
(1)	<p>発達障害についてまだまだ分かっていないことが多くありますし、理解も進んでいるとは思いません。それだけに事業実施にあたっては、児童生徒や保護者への支援は勿論ですが、周りの大人や先生方にも正しく理解してもらい取り組み、あるいは就学前の取り組みをどうするかなども課題になってくると思われます。支援センターがそうした取り組みもできるようにしていく必要があると思うのですが、市はどのような取り組みを行おうとしているのでしょうか。</p>			
<p>6 御園小学校のクーラー設置について</p>				
(1)	<p>できる限り早い設置を望むが、いつまでに設置されることになるのか。</p>			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (総括)	4 安原 透	<p>1 市民協働のまちづくりについて</p> <p>(1) 本市の人口が増加している状況において、核家族化が進み、若い住民が増加している中、地域のコミュニティや市民の連帯感の希薄化が懸念され、地域とのつながりや、地域での助け合いなど、地域コミュニティそのものが低下をする、そのことが今後、課題となるのではないかと。新しく本市に転居した住民が、自然に、または進んでまちづくりに参加して貰える、そういう施策が、市民協働のまちづくりの推進に、大変重要であるとする。</p> <p>本市、第一次総合計画に掲げられている、市民協働のまちづくりについて、「市民協働の意識の醸成」という観点から、現状までの評価と課題について、また今後これから、特に若い世代の市民に対し市民協働の仕組みづくりを、本市として、どのように推進・支援されるか、栗市長の見解を問う</p> <p>2 学校運営協議会制度の設置「コミュニティ・スクール」の導入に向けた仕組みづくりについて</p> <p>(1) 本市として、人口が増加をしている中、これから本市の未来を担う子供たちが増えている状況において、学校と一緒に、保護者や地域住民が、学校運営に積極的に参画して子供たちを支えていく、学校運営協議会制度・コミュニティ・スクールの導入に向けた、仕組みづくりをしていく、そのことがこれから本市にとって、必要だと考えるが、栗市長の見解を問う。</p> <p>3 学校運営協議会制度「コミュニティ・スクール」をベースとした対話・参加型の小中一貫教育の導入について</p> <p>(1) 地域全体で『共に』子どもを育てる、市民協働を推進し、将来、本市の「学校運営協議会」設置に、またコミュニティ・スクールの導入にむけて、推進がなされた場合、小中一貫教育に取り組む、その方向性について、栗市長の見解を問う。</p>
6	質問 (一問一答)	10 辻 信行	<p>1 自主防災会組織のあり方について</p> <p>(1) 自主防災資機材整備費補助金、補助率を上げるべきではないかを伺う。</p> <p>2 地域福祉計画・地域福祉活動計画について</p> <p>(1) 地域支え合いマップづくりを本市独自の策定マニュアルをできないかを伺う。</p> <p>(2) 野菜づくりや花づくりに取り組んでいる市民グループに、いろいろな支援が出来ないかを伺う。</p> <p>3 中央地区整備事業の文化交流拠点施設について</p> <p>(1) 地域の知の拠点として長期的かつ安定的に資料を貯蔵する機能を十分発揮できる情報発信拠点になるべき新図書館建設の思いを伺う。</p> <p>(2) 新図書館の愛称を市民から公募してどうかを伺う。</p>
7	質問 (総括)	13 土田 友雄	<p>1 豪雨による水害対策について</p> <p>(1) 防災体制を整え市民が自主的に対策や避難する体制を構築すべきである。</p> <p>2 椿荘の運営について</p> <p>(1) ふれあい憩いの場である椿荘 公平公正に利用できるように改良して欲しい</p> <p>3 民生費について</p> <p>(1) 民生費が大幅に増加した要因と今後の見通しを問う</p> <p>4 にぎわいについて</p> <p>(1) 活力ある野々市市、更なる活性を図る地域の取り組みにどの様に向きあって頂けるか</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
8	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 結婚新生活のための居住費の支援</p> <p>(1) 野々市市の20代・30代の所得の現状について伺う</p> <p>(2) 学生と勤労者、その中でも、正規雇用、非正規雇用、派遣、フリーター、ニートなど20代・30代の全体像での割合について伺う</p> <p>(3) 本市の20代・30代の既婚・未婚の割合について伺う</p> <p>(4) 野々市市独自の条件で新生活に向けた住居にかかる費用を支援してはどうか</p> <p>2 若者の禁煙治療の啓発と対策</p> <p>(1) 喫煙者の増減の推移について伺う。</p> <p>(2) 保険適用の緩和を機会に野々市市独自の条件を加えて、若者の禁煙を支援する啓発運動のチャンスにしてはどうか</p> <p>3 地元企業の求人情報と相談窓口の設置</p> <p>(1) 野々市市民の勤務先の状況について伺う</p> <p>(2) 働き方の形態について伺う</p> <p>(3) 市内ではどのような形態の勤務の現状</p> <p>(4) 地方版ハローワークに参加予定、その時期、内容について伺う</p> <p>4 投票しやすい選挙に</p> <p>(1) ワースト1の選挙について伺う</p> <p>(2) 投票率が低い理由について伺う</p> <p>(3) 年代別投票率について伺う</p> <p>(4) 「共通投票所」の設置について伺う</p> <p>(5) 今年の参議院選挙での対応について伺う</p> <p>5 なぜ今、女性防災士が必要なのかを問う</p> <p>(1) 防災士の人数及び男女別人数を伺う</p> <p>(2) 昨年の防災士養成講座開催の主な内容</p> <p>(3) 防災士資格者の活躍の現状について伺う</p> <p>(4) 地元での防災士養成講座の開催を提案</p> <p>(5) 昨年の防災士養成講座の状況について伺う</p>
9	質問 (一問一答)	5 宮前 一夫	<p>1 押野2丁目地内の野々市市立布水中学校への通学時・下校時において前面道路（布水つばき通り）横断時における生徒の安全確保を図れ。</p> <p>(1) 以前からも野々市市立布水中学校前の市道（布水つばき通り）にある横断歩道横断時の安全確保にあたり、近隣町会から要望が出されていると聞き及んでいる。 昨年12月7日に開催された、野々市商工会主催の「年末年始における防犯・交通事故防止懇談会」において、市内の校長会からの要望として、学校長より布水中学校前の道路横断にあたり、朝の挨拶指導時にもかかわらず、生徒がいても止まらない危険な車があるとの報告があった。 これらを踏まえ、現在の野々市市立布水中学校前の市道にある横断歩道の状況について、どのような認識でいるのかを伺う。</p> <p>(2) 先般改めて、地元町会並びに野々市市立布水中学校PTA会長、並びに学校長に事情をお聞きし、当該横断歩道の周辺施設の改修・移設等の要望を行ったが、市としての今後の具体対応を考えているのかを示せ。</p>